

課題検討依頼事項についての意見書

「泉区内外の多くの人に「住むなら泉区」  
と感じてもらうための  
“魅力発信” “魅力創出” について」

平成 30 年 9 月 13 日

泉区地域協議会

平成 30 年度泉区地域協議会第 1 回定例会にて、泉区長より「泉区内外の多くの人に「住むなら泉区」と感じてもらうための“魅力発信”“魅力創出”について」というテーマで、課題検討の依頼を受けた。

当協議会では、泉区ならではの強み・魅力について様々な視点から再確認し、これらの貴重な資源＝“泉区の魅力”について、「何を」「誰に」「どのように」発信していくかを主に検討し、意見書としてまとめた。

## 1 「魅力創出」～泉区の強み、魅力について～

(1) 横浜市は 18 の行政区があり、それぞれ特徴を持っている。その中でも「泉区ならではの魅力」を発信していくことが大切である。

ア 相鉄・JR、相鉄・東急の直通運転開始が予定され、交通アクセスがさらに多様になる。また、横浜駅や都心方面だけでなく、鎌倉、湘南、江ノ島方面へのアクセスも良好である。のんびり広々した駅構内や自然の光景が残る駅前風景もあり、区民を癒してくれる。

イ 泉区内の水と緑は、こころの安らぎに最適であり、住民はのびのびとした暮らしを送っている。一方、駅周辺にはドラマの撮影地もあるなど、おしゃれで先進的な面も併せ持つ。澄んだ空気と広い空のもと抜群の子育て環境であり、低コスト高クオリティな生活が期待できる。

ウ 「便利」と「変わらない自然」が共存するヨコハマ、大規模災害も少なく、住んでみて良さがわかる「わがふるさと泉」。適度に田舎で適度に都会のイメージがあり、大都市横浜の中でも、ふるさとになりうる自然があるのが大きな魅力である。

- ・歴史と伝統に満ちたまち

- ➡泉区には、鎌倉時代以来の歴史や伝統が残り、地域に伝わる郷土文化を次世代につなげる地域活動が続けられている。

- 例)「横浜いずみ歌舞伎保存会」「泉郷土芸能保存会」「相模風いずみ保存会」

- ・「農」が充実したまち

- ➡泉区は農地面積が市内で最も広く、多種多様な畜産農作物が直売所などで手に入る。新鮮な野菜が購入できることは泉区ならではの最大の魅力である。

- 家庭菜園など農に触れる機会も豊富であり、とれたての地元産の農畜産物を素材に取り入れる飲食店も増えるなど、自然と共存できるまちである。また、主に河川沿いに広がる田畑の光景は、「食」としての「農」以外に住民に安らぎを与えてくれる。

- ・充実した子育て環境

- ➡泉区内は 2 路線の鉄道が通っており、駅から徒歩圏内の保育所等が多いため、通勤時の送迎にも便利であり、幼稚園には送迎バスもある。また、地域全体で子どもを大切にし、子育てする環境がここにはある。さらに、区内や近隣で多世代で住める環境があり、子育て時に親の協力が得られる。子育て、親孝行重視派にはおすすめ！

- 現代の子どもたちにとっては、身近に自然や生物とふれあうことのできるとてもよい環境である。

(2) 地域活動が活発なまちであり、多くの高齢者が生きがいを感じ、生き生きとした生活を過ごしている。高齢になっても健康で自立した人生を楽しむことができる。➡「生涯現役主義」

また、地域行事に参加・活躍する女性が多く、小中学生も積極的に参加するなど、多世代で「顔の見える関係づくり」に取り組んでいる地域が多い。日頃からの「顔の見える関係づくり」の構築は防災・防犯の強化にもつながっていく。

## 2 「魅力発信」のために地域と行政が取り組むこと

### (1) 若年層に地域へ関心を持ってもらうための取組

泉区在住の若年層自身が「泉区に住んで良かった、これからも住み続けたい。」と感じてもらえるための取組、かつ、様々な価値観を持った多世代の意見が地域活動や区政に反映できる仕組みづくりが大切である。

ア これからの「泉区のあるべき姿」について若い世代が検討する機会として、例えば「泉区若者サミット（仮称）」等を開催し建設的な意見を取り入れ、区の政策に反映していく。

イ 主に女性を中心とした子育て世代が感じる魅力を取り入れる姿勢と、多世代交流型の地域運営を試みる。

ウ 地域行事への参加等を通じて学生が「泉区の現場」を楽しく学ぶ機会を作るなど、多世代が共存するまちづくりを目指していく。

エ 各地区で開催される地域行事を、若年層にとって関心度の高く魅力あるものにしていくことが求められる。多くの若年層に参加してもらい、泉区の魅力を肌で感じてもらうことが大切であり、これこそ「魅力発信の原点」となるものである。

### (2) 若年層をターゲットにした魅力発信の取組

泉区が魅力あるまちとして幅広い世代に認識してもらうために、地域と行政が一体となり、特に若年層にターゲットを絞って発信していくことが喫緊の課題である。

ア ポスター等を掲出するなど、区内・区外の住民に「泉区の魅力」を発信していく。

イ 泉区の魅力発信パンフレットを作製、様々な機会を通じ、配布する。

### (3) 区民や在勤者が区の魅力発信をするための取組

泉区の特徴・良さを学ぶ機会を創出し、区民のみならず、区内に通学・通勤している方々、区役所職員等が、魅力を区内外へ発信する源となることを目指していく。

ア 現場散策等を通じ、地域が泉区の歴史・魅力を知る機会の創出

イ 区職員等が泉区の良さ・魅力を肌で感じることでできる機会の創出

### (4) 効果的な魅力発信に向けた取組

インターネット等を通じ、不特定多数の区内外住民に泉区の魅力を発信していく。

また、職場や学校等での口コミは有効な手段である。各地域、各個人が発信していくことの大切さを様々な機会を通じて啓発していくことも大切である。（SNSの積極的な活用）

ア 魅力あるホームページの開設とアクセスしやすい方法を検討する。

イ 祭り等の地域行事、様々な機会を通じ、泉区の魅力発信の啓発をしていく。

### (5) 魅力発信に向けた地域資源とのさらなる連携

地域の魅力発信には、テレビや雑誌などマスメディアの力は非常に大きい。引き続き、発信のための働きかけをしていくことが求められる。

ア 各地域で発行する地域かわら版の内容を充実させ、地域住民に対し、住んでいる地域情報を効果的、継続的に発信していくことが大切である。

イ 市内・区内のマスコミ・交通機関・事業者等に対し、泉区の魅力発信の働きかけを行う。

ウ 歴史文化や「農」といった魅力を高めるために、地域、行政、事業者等の連携をさらに深めていく。